

## 【浜松発】10年の軌跡、4月10日を「良い一投・手裏剣ダーツの日」に制定

### ―「伝統」と「スポーツ」が手を取り合う、新しい文化発信―

浜松・千歳町のモデルガンショップ チトセ（浜松手裏剣道場／運営：有限会社永田ビル、代表：永田頼弘）は、一般社団法人日本記念日協会より、4月10日を「良い一投・手裏剣ダーツの日」として正式に認定・登録されたことを発表いたします。

本記念日は、日本古来の「手裏剣」と世界共通の「ダーツ」を融合させた「手裏剣ダーツ」を通じて、一投に集中し、的を射抜く「最高の手応え」を広めることを目的としています。2016年の開発から10年。浜松の地で育まれた新しい体験文化が、日本の公式な記念日として新たな一歩を踏み出します。

### ■ 制定の背景：4月10日「良い（4）一（1）投（0）の日」に込めた想い

新生活が始まるこの時期に、「最初の一步＝一投を大切にしよう」という想いを込めました。的に集中し、一投を放つ。その心地よさを知ることは、日常の集中力を研ぎ澄ませ、新しい自分と出会うきっかけの日でもあります。これまで縁がなかった方にこそ、一投に集中し、的を射抜く「最高の手応え」を届けていきたいと願っています。

### ■ 手裏剣ダーツが繋ぐ「伝統」と「スポーツ」の共創

手裏剣ダーツ（忍者ダーツ）は、「武道・伝統文化」の手裏剣と、「競技・娯楽スポーツ」のダーツを融合させた新しい体験です。両者に共通する「狙いを定めて射抜く」本質的な楽しさに着目。既存のダーツボードをそのまま活用しながら、初心者でも安全かつ確実に「刺さる喜び」を味わえるよう、独自の構造設計を施しています。

- **リスペクトし合う関係**：ダーツプレイヤーが忍者の奥深さに触れ、手裏剣愛好家がダーツの繊細な技術に驚く。分野の垣根を越え、お互いの文化を尊重し理解し合う“共創型”の体験です。
- **文化の入り口**：初心者でも安全に、かつ「刺さる」手応えを体感できる設計を追求。これまでどちらにも触れてこなかった方々への「新しい趣味の入り口」として機能します。

### ■ 浜松から全国、そして世界へ

手裏剣ダーツは、日本のアイデンティティである「NINJA」と、世界のスタンダードスポーツである「DARTS」を繋ぐボーダレスな文化です。今回の記念日制定を機に、浜松から日本全国、そして世界中へ。一投を通じた体験が、世代や国境を越えた交流のきっかけになることを目指します。

「10年前、小さなショップから始まったこの挑戦が、一つの節目を迎えました。伝統を単に『守る』だけでなく、現代のスポーツとして『共に創り、進化させる』。その一投が、国境を越えて人々の心を射抜く新しい文化となることを願っています。」

---

**【本件に関する取材・お問い合わせ先】** モデルガンショップ チトセ（浜松手裏剣道場） / 有限会社 永田ビル

住所：〒430-0934 静岡県浜松市中央区千歳町76番地ココアビル4階 電話：053-452-8359

E-mail：gunshop@titose.net URL：<https://www.titose.net/>